

テスト設計コンテスト'15

「**決勝戦**」

2015. 2. 21

<http://aster.or.jp/business/contest.html>

主催：NPO法人 テスト技術振興協会（ASTER）

テスト設計コンテストの目的

- ソフトウェアテストを分析設計から行うことを周知し、ソフトウェアテストエンジニアに対する教育の機会を提供する。
- コンテストという形式をとることにより、ソフトウェアテストが創造的な作業であり、楽しい
ということを経験してもらい、若年層及び初級
テストエンジニアからベテランテストエンジニア
までテストへの興味を高める。
- ソフトウェアテスト業界における技術開発を競
技を通じ、促進する。

テスコンの歴史



今回5回目

2011

- 【大賞】めいしゅ館（東海）
- 【湯本賞】奥村 健二（東海）
- 【にし賞】堀米 賢（東京）

2012

- 【最優秀賞】TETTAN（東京）
- 【審査員特別賞】あまがさき
ですとくらぶ（関西）

2013

- 【優勝】TETTAN（東京） 2連覇
- 【準優勝】Yuki Da RMA（北海道）

2014

- 【優勝】TFC KA・RI・YA
（東海代表）
- 【準優勝】MKE98
（審査委員推薦枠：東海）

2015

チュートリアル

予選

決勝戦

北海道： 2014年9月 5日
東京： 2014年8月 2日
東海： 2014年8月 3日
関西： 2014年8月23日

北海道： 2014年11月 8日
東京： 2014年12月20日
東海： 2014年10月31日
関西： 2014年12月 6日
書類選考：2014年12月初旬

JaSST' 15東京にて
2015年2月21日

決勝選出チーム

各予選から勝ち抜いた猛者による壮絶バトル

1. てすとくらふたーず（東海）

2. TCC（北海道）

*** 休憩 ***

3. チームT研（書類選考）

4. しなてすと（東京）

5. TEVASAKI plus（東京）

6. 1年4組（関西）

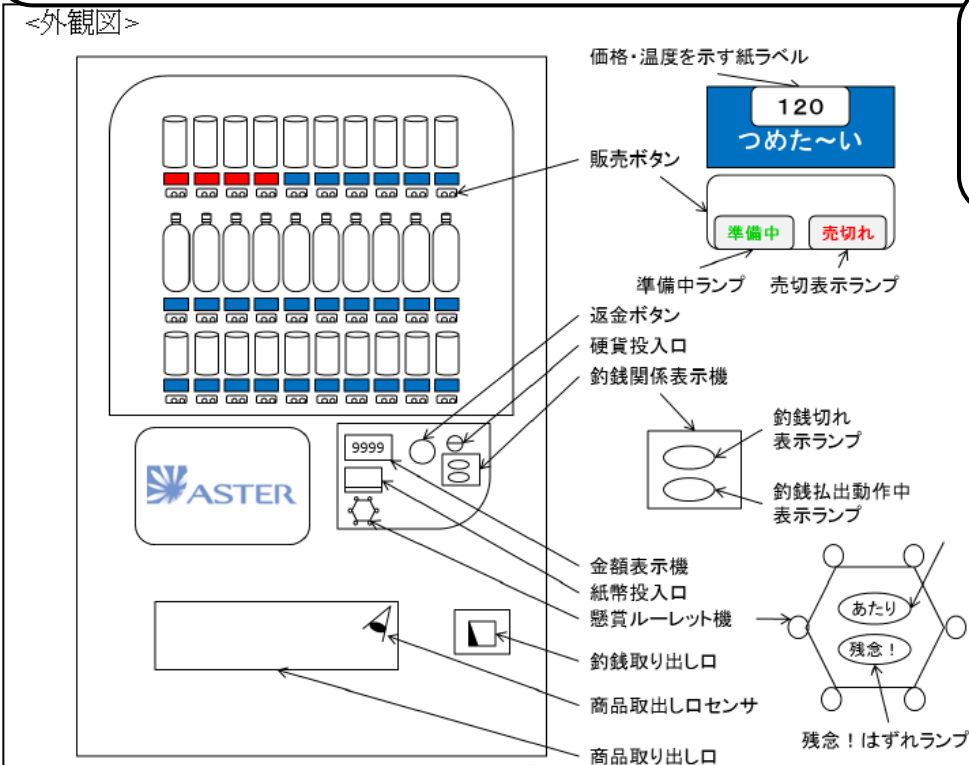
結果発表はJaSSTクロージングにて

テスコン2015 テストベース

<http://aster.or.jp/business/contest/testbase.html>

自動販売機プログラム

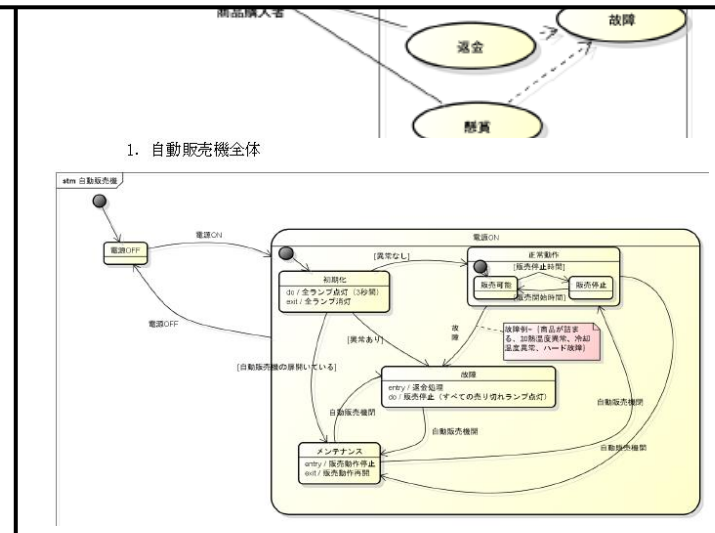
自動販売機ハードウェア構成 および販売者用機能仕様



本章では、自動販売機利用者ユースケース（下記 5 ケース）について記載する。

- ① 代金投入ユースケース
- ② 商品選択ユースケース
- ③ 返金ユースケース
- ④ 懸賞ユースケース

ASTER自動販売機 ユースケース仕様書



テスコン2015 提出成果物

- **成果物1：テスト設計の最終成果物：40ページ**
 - ✓ メインの審査対象
- **成果物2：テスト設計に関わる成果物一式**
 - ✓ テスト設計を行う過程
- **成果物3：アピールシート**
 - ✓ 各チーム紹介、狙いなどを表現
- **プレゼンテーション用資料**
 - ✓ プレゼンテーション：20分（発表15分、質疑応答5分）
で自チームのテスト設計を説明
- **当日フロア掲示用資料**
 - ✓ 8ページで各チームの特徴、主張を表現

食堂にて掲示中

テストコン2015運営組織

- 審査委員長**  **西 康晴**（電気通信大学）
- 本部審査委員**  **秋山 浩一**（富士ゼロックス）
-  **安達賢二**(HBA)
-  **鈴木 三紀夫**（NPO法人 ASTER理事）
-  **湯本 剛**（日本HP）
-  **吉澤 智美**（日本電気）

実行委員：各地域JaSST実行委員有志 + α

テスト設計コンテスト審査基準2015

■テストアーキテクチャ設計点 (30点)

- －テストアーキテクチャレベルでテスト観点が考慮されているか
- －テストすべきこと(テスト観点)がすべて盛り込まれているか
- －テストの全体像が把握しやすいか
- －テスト対象とテスト目的の関係が分かりやすいか
- －テストの厚みやバランスが考慮されているか
- －テストスコープが明示されているか、明示されたスコープは妥当性があるか

■テスト詳細設計・実装点 (20点)

- －特定のテスト観点において、テストケースが十分に記述されているか
- －選択したテスト観点が適切か
- －リスクを考慮した優先順位付けが行われているか

■工程間一貫性点 (10点)

- －テストアーキテクチャとテスト詳細・実装の間のトレーサビリティが取れているか
- －テストアーキテクチャとテスト詳細・実装のバランスが良いか

■技術点 (20点)

- －高い技術を用いているか
- －仕様書の問題を指摘できているか

■文書点 (10点)

- －文書の情報量は適切か
- －記述内容は論理性を保っているか
- －文書の可読性は保っているか
- －文書体系が示されているか
- －文書の保守性を考慮しているか

■プレゼン資料点 (10点)

- －分かりやすいか(正確な情報が速やかに伝わるか)
- －主張が受け入れられるか(説得できるか)
- ※ 書類審査の場合は、プレゼン用に提出した資料で評価を実施する

■特別点 (20点)

- －独自性は高いか
- －新規性は高いか
- －発想は豊かか

※ ただし、独自の概念や用語を用いる場合には、用語の定義を必ず行うこと。

+ ■本日のプレゼン点(15点)